

News Release

平成 30 年 2 月 28 日

株式会社 長 大

経済産業省・資源エネルギー庁主催 WS で質高インフラを強調

ミンダナオ島での小水力発電事業実績を踏まえた技術面・ビジネス環境面からの話題提供

比国小水力ワークショップにて講演・ディスカッション参加

日本政府の質の高いインフラ輸出戦略や JCM 設備補助を活用した事業ポテンシャルを指摘

株式会社長大(東証二部上場、証券コード 9624。永治泰司・代表取締役社長。以下「当社」)は、フィリピン国(以下、「比国」)マニラ首都圏ボニファシオ・グローバル・シティにて、去る 2 月 15 日(木)に行われた、経済産業省(以下、「経産省」)並びに比国エネルギー省(Department of Energy、以下「DOE」)が主催する日本フィリピン小水力ワークショップ(以下「小水力 WS」)に参加し、当社事業企画部課長・大浦雅幸が「Challenges in the small hydropower development in the Philippines from the perspective of Japanese investors / consultants」と題した発表を行いました。比国ミンダナオ島において、事業パートナーであるエクイパルコ・コンストラクション・カンパニー(以下、「エクイパルコ社」)並びにツインピーク・ハイドロ・リソーシス・コーポレーション(以下、「ツインピーク社」)と協働して開発を進める 3 河川での小水力発電事業実績から、当該ワークショップの事務局である一般財団法人日本エネルギー経済研究所(以下、「IEEJ」)より要請を受け、登壇に至ったものです。竣工を間近に迎えるアシガ川小水力発電事業や、2017 年度 JCM 設備補助を受けて推進中のタギボ川小水力発電事業、これに続くワワ川小水力発電事業での取り組み実績を通じた現地での具体的な活動を紹介すると共に、日本国政府が掲げる質の高いインフラ輸出戦略や、地球環境政策としての二国間クレジット制度(Joint Crediting Mechanism、以下「JCM」)等の制度を活用した事業ポテンシャルを強調し、比国政府方針により 40%までの外資規制がある分野としながらも、日本国政府や日本企業が参画する形での事業開発ポテンシャルを紹介したものです。

当社は2011年から比国ミンダナオ島で、①アシガ川小水力発電事業、②タギボ川小水力発電事業、③ワワ川小水力発電事業、の3つを推進して参りました。①アシガ川小水力発電事業は8MWの発電容量で本年3月頃の運転開始を見込み、建設の最終段階です。国際協力銀行(以下、「JBIC」)のフィリピン開発銀行(Development bank of the Philippines、以下「DBP」)を通じたツーステップローンを活用すると共に、富士フォイト社のフランシス型水車発電機を導入した事業であり、当社も10%の資本参加と5つの分野でコンサルティングサービスを提供しています。②タギボ川小水力発電事業は4MWの発電容量で、①アシガ川小水力発電事業とは異なり、事業開発初期段階であるFS調査にてJBICのご支援を頂いた事で、当社が主導して技術面・法制度面の確認調査を踏まえてを事業計画検討を実施した事業です。また、2017年1月に日比両国間で締結されたJCMの設備補助を、比国では初年度にあたる本年度、JCM設備補助事業に採択を得て、2019年中の完工を目指している事業です。JCM設備補助により設備調達費の最大50%をご支援頂くと共

に、JBIC のツーステップローンならびに日系企業の水車発電機調達に向けて交渉を進めております。③ワフ川小水力発電事業は 10MW の発電容量で、2013 年度に経済産業省のご支援と、2014 年度から 2015 年度にかけて国際協力機構(以下、「JICA」)のご支援を頂きながら開発を進めている事業です。気候変動による気象条件の激化が指摘される中、小水力発電設備で最も被害を受けやすい水路をトンネル構造とすることで、気候変動対策を図りながら、ミンダナオ島において将来的に見込まれるトンネル掘削技術の移転を狙った事業です。

上記の、3 河川での小水力発電事業とは別に、風力発電事業、バイオマス発電事業等の再生可能エネルギー事業を進めつつ、ブトゥアン市水道公社に水道水を長期に亘って提供する上水供給コンセッション事業を進めております。また、同時にこれらの電力・水の供給体制の下、産業進出を促進し、雇用機会を創出する工業団地開発に着手すると共に、ブトゥアン市が主導する形でカラガ地域全体の最優先プロジェクトとして掲げる、周辺工業団地と基幹道路、港を結ぶ産業道路整備を支援しております。さらに、工業団地での加工対象品となる農業・水産養殖業にも取り組んでおります。

このような活動の中、当社は一貫して日本に関係する主体が可能な限り関与・協働する機会を創出し、日本からのヒト・モノ・カネを取り込んでいくつなぎ役を実践して参りました。本年には、つなぎ役を一層強化し、より多くの日本企業の参画機会を提供することを目的に一般社団法人を設立し、この活動を通してミンダナオ島カラガ地域における経済開発に貢献する所存です。

当社は引き続き、日本政府が推し進める質の高いインフラ輸出や低炭素社会の構築にも沿う形で事業の推進を図り、低炭素型経済開発を通して地球温暖化問題や日本国温室効果ガス(GHG)排出削減量獲得とミンダナオ島における和平構築に貢献していきたいと考えております。また、日本や日本企業とのつなぎ役としての機能を担い、引き続き、日本の政府系機関や地方自治体、民間企業の参画機会を最大限に増やしつつ、ブトゥアン市周辺エリアをはじめ、ミンダナオ島の経済発展に強く貢献すると共に、日本の地方にある優れた技術やノウハウの輸出を通して、日本の地方創生にも貢献していきたいと考えております。

■ お問い合わせ

本件に関する報道機関からのご照会は、以下へお願い申し上げます。

宗広 裕司(むねひろ ゆうじ) 株式会社長大 事業推進本部 事業企画部 部長 TEL:03-6867-8055 Email: munehiro-y@chodai.co.jp	加藤 聡(かとう さとし) 株式会社長大 経営企画本部 財務・法務部 部長 長大フィリピン・コーポレーション 社長 TEL:03-3639-3465 Email: katou-sa@chodai.co.jp	大浦 雅幸(おおうら まさゆき) 株式会社長大 事業推進本部 事業企画部 課長 長大フィリピン・コーポレーション 副社長 TEL:03-6867-8055 Email: ooura-m@chodai.co.jp
---	---	--

1. 講演の様子



2. 事業パートナーの概要

社名	エクイパルコ・コンストラクション・カンパニー
業務内容	ゼネコン(ミンダナオ島最大手)
本社	フィリピン国ミンダナオ島北アグサン州ブトゥアン市
代表者	ルーベン・ハビエール CEO
URL	www.equi-parco.com

社名	ツインピーク・ハイドロ・リソーシズ・コーポレーション
業務内容	事業企画開発、投資
本社	フィリピン国ミンダナオ島北アグサン州ブトゥアン市
代表者	高野 元秀 CEO/社長

3. タギボ工業団地周辺で当社が展開中のプロジェクト

★ 出資済み/決定
★ コンサル業務提供/予定
(※薄色は検討・協議中)
【2018年2月現在】



- 2014年度 JICA案件化調査
- 日系中小企業が開発・製造する土壌・水質改良資材(ルオール)を適用し、放棄された養殖池の回復

エビ養殖の実証試験池

稲作事業

- 上述ルオールにより、7~8haを達成(地域の平均収量約3.7t/ha)
- ジャポニカ米の栽培に成功

バイオマス発電事業

- 2015年度、経済産業省支援でプレFS調査、2017年度補助事業調査
- 初級の安定供給体制+2MW発電+副産物販売モデルを構築予定。
- 事業化の準備中(SPC設立済)

風力発電事業

- 2016年度、経済産業省支援でプレFS調査、2017年度補助事業調査
- 150MW予定(SPC設立済)

太陽光発電事業

- 民間独自調査開始(200MW級予定)

低炭素型工業団地開発事業

- 141haの低炭素型工業団地(SPC設立済)
- 2015年5月、日系メーカーの精米機を導入した精米所を建設
- 2016年度、経産省支援で水インフラ導入のFS調査

ウナギの養殖事業

アシガ川小水力発電事業

- 8MW
- 2017年中稼働予定
- 日系メーカー水車発電機を導入
- JBICのツーステップローンによる融資

タギボ川小水力発電事業

- 4MW/2019年度稼働予定
- 2015年度、JBICの支援を受けてFS調査実施
- 2017年度、JCM設備補助事業に採択

ワフ川小水力発電事業

- 10MW(検討中)
- 2020年度稼働予定
- 2012年度、経済産業省支援でFS調査実施
- 2014~2016.5 JICAの協力準備調査

上水供給事業

- 3万m³/日(将来8万m³/日)
- 2015年~40年(+25年)
- JICAのツーステップローンによる融資
- 日系メーカーより設備機器導入
- 2017年度経産省(増設FS)

インフラ基礎調査(OCAJI)

- 海外建設協会(OCAJI)調査を経て一次製品のバリューチェーン構築に必要な物流インフラ拡充提案

日系飼料の活用

- 生産情報公表JAS規格の取得による高付加価値化
- 加工工場稼働開始
- (日系メーカー加工機導入)



精米所



精米機